



森田医院通信

Vol.5

2016年6月14日

高齢者糖尿病の血糖コントロール目標

日本糖尿病学会と日本老年医学会は、5月20日に第59回日本糖尿病学会年次学術集会で「高齢者糖尿病の血糖コントロール目標（HbA1c値）」を発表しました。

高齢者は、心身機能の個人差が著しいことや重症低血糖を来しやすいといった問題点を考慮し特別に注意が必要であることから新しく制定されました。

今回示された目標の基本的な考え方は以下の通りです。

- ① 血糖コントロール目標は患者の特徴や健康状態：年齢、認知機能、身体機能（基本的ADLや手段的ADL）、併発疾患、重症低血糖のリスク、余命などを考慮して個別に設定すること。
- ② 重症低血糖が危惧される場合は、目標下限値を設定し、より安全な治療を行うこと。
- ③ 高齢者ではこれらの目標値や目標下限値を参考にしながらも、患者中心の個別性を重視した治療を行う観点から、表に示す目標値を下回る設定や上回る設定を柔軟に行うことを可能としたこと。

当院ではこれまでほぼ同様の内容で治療を行ってきていますが、目標値の設定によりより安全な治療の普及が望まれます。

患者の特徴・健康状態 ^{注1)}	カテゴリーI		カテゴリーII	カテゴリーIII	
	① 認知機能正常 かつ ② ADL自立		① 軽度認知障害～軽度認知症 または ② 手段的ADL低下、基本的ADL自立	① 中等度以上の認知症 または ② 基本的ADL低下 または ③ 多くの併存疾患や機能障害	
重症低血糖が危惧される薬剤（インスリン製剤、SU薬、グリニド薬など）の使用	なし ^{注2)}	7.0%未満		7.0%未満	8.0%未満
	あり ^{注3)}	65歳以上 75歳未満 7.5%未満 (下限6.5%)	75歳以上 8.0%未満 (下限7.0%)	8.0%未満 (下限7.0%)	8.5%未満 (下限7.5%)

治療目標は、年齢、罹病期間、低血糖の危険性、サポート体制などに加え、高齢者では認知機能や基本的ADL、手段的ADL、併存疾患なども考慮して個別に設定する。ただし、加齢に伴って重症低血糖の危険性が高くなることに十分注意する。

注1： 認知機能や基本的ADL（着衣、移動、入浴、トイレの使用など）、手段的ADL（IADL：買い物、食事の準備、服薬管理、金銭管理など）の評価に関しては、日本老年医学会のホームページを参照する。エンドオブライフの状態では、著しい高血糖を防止し、それに伴う脱水や

急性合併症を予防する治療を優先する。

注2： 高齢者糖尿病においても、合併症予防のための目標は7.0%未満である。ただし、適切な食事療法や運動療法だけで達成可能な場合、または薬物療法の副作用なく達成可能な場合の目標を6.0%未満、治療の強化が難しい場合の目標を8.0%未満とする。下限を設けない。カテゴリーIIIに該当する状態で、多剤併用による有害作用が懸念される場合や、重篤な併存疾患を有し、社会的サポートが乏しい場合などには、8.5%未満を目標とすることも許容される。

注3： 糖尿病罹病期間も考慮し、合併症発症・進展阻止が優先される場合には、重症低血糖を予防する対策を講じつつ、個々の高齢者ごとに個別の目標や下限を設定しても良い。65歳未満からこれらの薬剤を用いて治療中であり、かつ血糖コントロール状態が表の目標や下限を下回る場合には、基本的に現状を維持するが、重症低血糖に十分注意する。グリニド薬は、種類・使用量・血糖値等を勘案し、重症低血糖が危惧されない薬剤に分類される場合もある。

【重要な注意事項】糖尿病治療薬の使用に当たっては、日本老年医学会編「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン」を参照すること。薬剤使用時には多剤併用を避け、副作用の出現に十分に注意する。

一言コラム

高血圧治療、75歳以上も120mmHg未満が有益 SPRINT試験サブ解析

高齢の高血圧患者における収縮期血圧の最適な治療目標値に関しては十分わかっていません。今回、75歳以上の非糖尿病高血圧患者について、目標収縮期血圧値を120mmHgとする強化降圧治療を行ったほうが、同140mmHgとした場合に比べ、心血管イベントや全死因死亡の危険が、3割以上低下したという発表がありました。

高齢の患者さんではお一人お一人の体の状態が大きく異なるため、個々の調節が必要となりますが高血圧は放置せずきちんと治療コントロールすることが大切なようです。

日本のニュース

日本人の健康寿命、74.9歳で世界一

世界保健機関（WHO）が5月19日に発表した「世界保健統計」で、2015年の日本人の平均寿命は83.7歳（世界一）、（女性86.8歳（世界一）、男性80.5歳（世界6位））だったそうです（世界の平均寿命は71.4歳）。健康上支障なく日常を送れる期間を示す「健康寿命」も74.9歳と世界一で、日本の医療水準の高さを裏付けるものとなりました。

世界のニュース

西日本で初、大阪の30代男性、ジカ熱と診断

5月10日、中南米地域から帰国した大阪府の30代男性が、ジカウイルス感染症（ジカ熱）と診断されたと発表されました。ジカウイルス感染症（ジカ熱）の拡大が止まらないようです。また先日フィリピンとベトナムも流行地域に加えられました。

ジカウイルスが妊婦に感染すると胎児に小頭症という異常の原因となると考えられることから、妊婦の渡航を控えウイルスを媒介する蚊に刺されないよう呼びかけています。

また性行為による感染予防のため世界保健機関（WHO）は流行地域からの帰国後、妊娠を予定しているカップルや女性は最低8週間（男性に症状が見られた場合には6か月）、妊娠を控えることを強く推奨しています。

これから流行地に旅行や出張などに出られる方は蚊に刺されないように注意が必要ですね。



医療法人
森田医院

所在地：大阪府寝屋川市本町24-14 電話：072-821-0446
ホームページ：<http://www.moritaclinic.or.jp>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9時-12時30分	○	○	○	-	○	○	-
17時-19時30分	○	○	○	-	○	-	-



受付は診察の30分前からです。シャッターは診察の1時間前に開きますので診察券をお持ちの方は診察券入れに入れていただきますと順番をとらせていただきます。